

奧地ニ至候テハ、  
節ニ有之候ニ付、  
度候間右御許可ノ上、  
成度此段相伺候也

明治八年三月

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

伺之通

明治八年四月四日



甲第拾五号

雇外國人内謁見ノ義伺

當使御雇教師頭取兼開拓顧問ホレシケ  
口レ來ル四月三十日ニテ解約致候ニ付テハ  
最前雇入候節ノ振合ニ倣ヒ本月二十日頃内  
謁見為致度候條此段奉伺候也

明治八年三月十五日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

伺之趣奉ル廿八日午前第十時

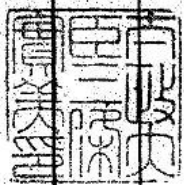
第十三号

開拓長官

吏

内謁見被 仰出候事

明治八年三月廿五日



甲第拾六号

官員献金ノ義伺

先般

宮殿御再營諸官省建築被 仰出候ニ  
甘當使權大主典山崎清躬ヨリ石御費  
用ノ内、金三十拾圓献納仕度旨願出候  
間御聞濟相成度本人願書相添此致奉  
伺候也

明治八年三月十五日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿